

No.955(1955年1月1日合併号)から

No.987(1966年1月21日)まで

No.955(1966年1月1日合併号)

◇巻頭言 ◇ 一千号めざす

非人間性の壁

急ぎながらじっくりと

—米沢における改憲阻止共闘から—

勇気を出せ！われわれは必ず勝利する  
やつぱり生産性三原則が焦点だ

—ベアから「賃金改善」闘争へ—

国鉄闘争 勝利への展望

組織率は一八・二%に

—三〇年連続で低下—

生きるため、闘うための読書

一冊の本が人生を決める！

安全・快適、使いやすい駅施設・設備・システムを！

—「労働者、障がい者・高齢者がベビーカー利用者らの集い」ご案内—

ドイツ新政権発足と「社会国家」の行方

読者からのおたより

滝野 忠  
向坂 逸郎  
中村 平治  
土屋 信三  
小山 椒  
稻村 守  
編集部

No.956(1966年1月21日号)

◇巻頭言 ◇ 現場ですすむ教育基本法改悪の実態

断固反撃、そして実り多き収穫の年に！

◇資料 ◇ 大統領「三・一節記念演説」教えて懲戒された増田教師

“歪曲された歴史教育悲劇呼ぶ”

民主教育を守り、実践することとは！

—憲法と教育基本法に基づき、子供たちに

自らの生き方を見つけることを援助することだと思います—

酒井支部長の強制配転は不当労働行為だ

郵政職場の不当労働行為を正す会 一七〇人で結成される

人減らし、安全、精神疾患、現職死亡

—業績回復は合理化の結果—

私鉄春闘への注目

読者からのおたより

小城 智子  
増田 都子  
羽川 健治

No. 957 (二〇〇六年二月一日号)

◇卷頭言 ◇ 朝日の墮落が浮きぼりに

『論座』での朝日、読売論説責任者の対談

「ベア」から「賃金改善」 一〇六年春闘の焦点――

何を学ばなければならないか

――9・11衆院選、9・15鉄建公団裁判判決から――

「9・15判決の階級闘争の意味」を掘り下げた

さきが見えない不安 一全国紙の社説から――

MBCテレビ韓国語の和訳!

真の歴史と真実を学ばせる

――教師として生きていく自身に課せられた至上課題

読者からのおたより 編集部だより

伊勢 太郎

堀井 進

花井 吉宅

増田 都子

No. 958 (二〇〇六年二月一日号)

◇卷頭言 ◇ 「二〇四七人が大同団結

国鉄闘争二〇年「二・一六総決起集会」

現代資本主義とホリエモン

――ホリエモンはルンペン・ブルジョアジー――

「北朝鮮」が仮想敵国

一二・一九日米合同軍事演習反対集会に参加しよう――

今、何をなさねばならないか

――9・11参院選、9・15鉄建公団裁判判決から（下）――

「公務員の退職金はゼロ」

――五十一番目の州知事・小泉某より――

公務員労働者の皆さん、これでいいの

――「公共サービス・公務員制度のあり方に関する連合の考え方」を論ず（上）

私たちの三つの目標 一二〇〇六年労働運動の課題――

九・一五判決に早期解決を確信

――政府・運輸機構は責任をとれ！音威子府闘争団〇六新春旗開き――

読者からのおたより

稻村 守

堀井 進

六津五郎

滝野 忠

西山 和宏

木村 哲藏

滝野 忠

西山 和宏

橋 幸英

杉山 均

堀井 進

六津五郎

滝野 忠

西山 和宏

木村 哲藏

滝野 忠

西山 和宏

堀井 進

六津五郎

滝野 忠

西山 和宏

木村 哲藏

滝野 忠

西山 和宏

読者からのおたより

――「公共サービス・公務員制度のあり方に関する連行の考え方」を論ず（下）――

伊勢 太郎

堀井 進

花井 吉宅

増田 都子

堀井 進

木村 哲藏

滝野 忠

西山 和宏

堀井 進

六津五郎

滝野 忠

西山 和宏

木村 哲藏

滝野 忠

西山 和宏

堀井 進

六津五郎

滝野 忠

西山 和宏

木村 哲藏

滝野 忠

西山 和宏

堀井 進

六津五郎

滝野 忠

西山 和宏

木村 哲藏

滝野 忠

西山 和宏

堀井 進

六津五郎

滝野 忠

西山 和宏

木村 哲藏

滝野 忠

西山 和宏

堀井 進

六津五郎

滝野 忠

西山 和宏

木村 哲藏

滝野 忠

西山 和宏

堀井 進

六津五郎

滝野 忠

西山 和宏

木村 哲藏

滝野 忠

西山 和宏

堀井 進

六津五郎

滝野 忠

西山 和宏

木村 哲藏

滝野 忠

西山 和宏

堀井 進

六津五郎

滝野 忠

西山 和宏

木村 哲藏

滝野 忠

西山 和宏

堀井 進

六津五郎

滝野 忠

西山 和宏

木村 哲藏

滝野 忠

西山 和宏

堀井 進

六津五郎

滝野 忠

西山 和宏

木村 哲藏

滝野 忠

西山 和宏

堀井 進

六津五郎

滝野 忠

西山 和宏

木村 哲藏

滝野 忠

西山 和宏

堀井 進

六津五郎

滝野 忠

西山 和宏

木村 哲藏

滝野 忠

西山 和宏

堀井 進

六津五郎

滝野 忠

西山 和宏

木村 哲藏

滝野 忠

西山 和宏

堀井 進

六津五郎

滝野 忠

西山 和宏

木村 哲藏

滝野 忠

西山 和宏

堀井 進

六津五郎

滝野 忠

西山 和宏

木村 哲藏

滝野 忠

西山 和宏

堀井 進

六津五郎

滝野 忠

西山 和宏

木村 哲藏

滝野 忠

西山 和宏

堀井 進

六津五郎

滝野 忠

西山 和宏

木村 哲藏

滝野 忠

西山 和宏

堀井 進

六津五郎

滝野 忠

西山 和宏

木村 哲藏

滝野 忠

西山 和宏

堀井 進

六津五郎

滝野 忠

西山 和宏

木村 哲藏

滝野 忠

西山 和宏

堀井 進

六津五郎

滝野 忠

西山 和宏

木村 哲藏

滝野 忠

西山 和宏

堀井 進

六津五郎

滝野 忠

西山 和宏

木村 哲藏

滝野 忠

西山 和宏

堀井 進

六津五郎

滝野 忠

西山 和宏

木村 哲藏

滝野 忠

西山 和宏

堀井 進

六津五郎

滝野 忠

西山 和宏

木村 哲藏

滝野 忠

西山 和宏

堀井 進

六津五郎

滝野 忠

西山 和宏

木村 哲藏

滝野 忠

西山 和宏

堀井 進

六津五郎

滝野 忠

西山 和宏

木村 哲藏

滝野 忠

西山 和宏

堀井 進

六津五郎

滝野 忠

西山 和宏

木村 哲藏

滝野 忠

西山 和宏

堀井 進

六津五郎

滝野 忠

西山 和宏

木村 哲藏

滝野 忠

西山 和宏

堀井 進

六津五郎

滝野 忠

西山 和宏

木村 哲藏

滝野 忠

西山 和宏

堀井 進

六津五郎

滝野 忠

西山 和宏

木村 哲藏

滝野 忠

西山 和宏

堀井 進

六津五郎

滝野 忠

西山 和宏

木村 哲藏

滝野 忠

西山 和宏

堀井 進

六津五郎

滝野 忠

西山 和宏

木村 哲藏

滝野 忠

西山 和宏

堀井 進

六津五郎

滝野 忠

西山 和宏

木村 哲藏

滝野 忠

西山 和宏

堀井 進

六津五郎

滝野 忠

西山 和宏

木村 哲藏

滝野 忠

西山 和宏

堀井 進

六津五郎

滝野 忠

西山 和宏

木村 哲藏

滝野 忠

西山 和宏

堀井 進

六津五郎

滝野 忠

西山 和宏

木村 哲藏

滝野 忠

西山 和宏

堀井 進

六津五郎

滝野 忠

西山 和宏

木村 哲藏

滝野 忠

西山 和宏

堀井 進

六津五郎

滝野 忠

西山 和宏

木村 哲藏

滝野 忠

西山 和宏

堀井 進

六津五郎

滝野 忠

西山 和宏

木村 哲藏

滝野 忠

西山 和宏

堀井 進

六津五郎

滝野 忠

西山 和宏

木村 哲藏

滝野 忠

## No. 960 (二〇〇六年三月一日号)

◇卷頭言 ◇ 日本軍隊（案）の銃口は労働者・国民にも向けられている 稲葉 耕一  
自民党新憲法草案、「自衛軍」という名の侵略軍で海外へ  
野党闘争の条件は存在する

### ◇資料と解説 ◇

連合「公務員制度のあり方に関する考え方」について（要約）  
「誓約書を書け、就業規則に従え」と懲戒処分 正光会労組支援する会・  
| 愛媛・正光会法人、处分通告を強行|  
不団結要素、克服を確認 | 国労中央委と残された課題 |  
「人らしく生きよう」とした者は人並みの生活を奪われた 青柳 義則  
| 国労闘争団・尊厳・誇り „human right“ の現場から 六津 五郎  
六五歳以上の年金生活者・高齢者に信じられないぐらいの負担増 原 義弘  
| 大増税・社会保険料も大幅アップ |  
◇資料 ◇ 日本経団連の重要な政策課題 (〇六年)  
読者からのおたより

## No. 961 (二〇〇六年三月一日号)

◇卷頭言 ◇ マスメディアの堕落

朝日新聞労組よしつかりしろ

資本は労組の「産報」化誘導

初の都市型訓練施設使用・日本車と同時連携実施

| あいば野日米合同軍事演習反対集会開催 |

◇資料 ◇ 日米合同軍事演習反対 12・19 あいば野集会決議

母なるびわ湖を軍靴で荒らすな！

◇資料 ◇ 三〇〇が二九になり、一に至った「いなほ事故」

民営化と規制緩和・當利後先と人員削減、国労敵視が事故要因 (上)

国労新潟地方運輸協議会

民族主義の高揚 — 世界情勢の特徴について (一) —  
読者からのおたより

## No. 962 (二〇〇六年三月一日号)

◇卷頭言 ◇ 一〇四七名連絡会議 旗上げ — 2・16集会の意義 講神 初子  
4・4集会で力をさらに大きく強く — 学者・文化人よびかけ文（要旨） |  
ご存じですか？ 県庁で働く非常勤職員の実態 高知県職員労働組合

四谷大木戸の玉川上水 山田 敏行  
「労働運動は芸術だ」 — 岡本太郎と現在の労働運動 | 黒崎 隆雄

◇資料 ◇

三〇〇が二九になり、一に至った「いなほ事故」 国労新潟地方運輸協議会  
民営化と規制緩和・當利優先と人員削減、国労敵視が事故要因 (下)

◇世界の政治ラテンアメリカの現代 ◇

政治腐敗が政権を直撃 — 営企業民営化、 IMF緊縮策が矛盾拡大 —

読者からのおたより

編東部だより

No. 963 (一〇〇六年三月二一日号)

滝野 忠

国労紋別闘争団

◇巻頭言 ◇ ゼロ金利政策の搾取  
国労本部はただちに提訴の決断を

—四・四集会は勝利解決への基盤づくり—

◇世界の政治米国の経済と外交(上) ◇

米国外交の破たん —軍事拡大に経済は耐えられるか

◇資料1 全日本金属産業労働組合協議会(一〇〇六年三月一五日) ◇

共闘全体として一定の成果

◇資料2 ある私鉄単産の分会春闘方針 ◇ 学習で労働者思想確立  
支払い能力論浸透の結果 —〇六春闘「回答」への基本視点—

◇資料3 経団連会長コメント ◇ —賃金中心の交渉は終わった—

読者からのおたより

編集部だより

No. 964 (一〇〇六年四月一日号)

◇巻頭言 ◇ スポーツ漬け

◇世界の政治米国の経済と外交(下) ◇

米外交政策は八方塞がり —ブツシユは死に体へ

七年間の入院生活一車いまでの再出発

—「初めての外出から元気」、バリアフリー化の闘い—

講談「はだしのゲン」満足度一二〇%

新自由主義に反撃する道は?

—神田香織さんの熱演に圧倒された二〇〇名! (大分・憲法集会) —

大分連帯する会  
労働大学近畿支局

—4・16労大近畿支局を軸に学習講演会

市場原理と医療

—米国の失敗を後追いする医療改革—

読者からのおたより

No. 965 (一〇〇六年四月二一日号)

◇巻頭言 ◇ 「統一戦線」を本物に

四・四集会に参加して

都教委の言う「クビ」の理由

—分限免職処分!? ゼひ、抗議を—

安全問題を問う —多発する航空事故から—

安全は航空会社の社会的使命

—国土交通省よりの「事業改善命令」等に関するTJJ四乗組の見解—

好評発売! 「医療制度改革批判と

民営化は労働者に何をもたらしたか —兵庫たたかう仲間の集会「基調」—  
読者からのおたより

No. 966 (二〇〇六年五月一・一日合併号)

◇卷頭言 ◇ 若者に職がない！ なぜ？

正々堂々、土俵に上がる

大同団結の力で勝利判決めざす ━ 「四・四集会」アピール (要旨) ━

増田さんをただちに職場にもどせ

━ 教育基本法十条違反、野蛮な平和教育への介入 ━

企業内格差拡大経営にNO！

━ 三つのスローガン掲げ、新たな闘いを ━

◇世界の政治 中近東の情勢 ◇ ━ 「反米」「反帝国主義」の胎動

誰でも使える都市交通？ ━ 自由化が欧州の公共サービスへ及ぼした様々な影響 ━

障がい者も丁来客一利用者と位置づけ、法の趣旨違反には罰則も！ 滝野 嘉津子

━ 「交通バリアフリー法」見直しへの池本視点 ━

読者からのおたより

伊勢 太郎

全下野労組印副会社闘争 東京都学校ユニオン

No. 967 (二〇〇六年五月二一日号)

◇卷頭言 ◇ 社民、共産は統一会派つくれ ━ 千葉補選から

伊勢 太郎

自由貿易と保護主義

教育の危機宣言 (日教組・二〇〇六年四月二八日)

━ 教育基本法政府「改正」法案に反対し、国民的な論議を求めます！ ━

権利侵害、首切り・リストラと連携……

━ 「増田さんの解雇撤回！」四二八集会から ━

熱意が届いたのかー会場を埋めつくした四六〇名の仲間 ━

NTTの職場も「格差社会」入りか

━ 「勝ち組」も「負け組」も非人間化 ━

全面的な成果主義賃金提案 ━ NTTの提案 ━

◇世界の政治 ヨーロッパの情勢 (上) ◇

共産党と社会民主主義諸政党

読者からのおたより

No. 968 (二〇〇六年六月一日号)

◇卷頭言 ◇ 私の読書 『マル・エン全集』書簡集を読む

伊勢 太郎

一〇四七名問題と安全を一つに

━ 「ノーモアJ.R尼崎事故」で集会 ━

一年で十二人中一人がやめていく

━ ナイチンゲール精神の看護師がなぜ ━

職場ですすむ仕事密度・精神的緊張の強化、強まる民営化の流れ

労働運動再生への課題

━ 六春闘 支払い能力論浸透 ━

原告団の闘いと今後の展開

━ 国鉄闘争の現状 ━

読者からのおたより

No. 968 (二〇〇六年六月一日号)

◇卷頭言 ◇ 私の読書 『マル・エン全集』書簡集を読む

滝野 忠  
中野 勇人

編集部

一年で十二人中一人がやめていく  
━ ナイチンゲール精神の看護師がなぜ ━  
職場ですすむ仕事密度・精神的緊張の強化、強まる民営化の流れ  
労働運動再生への課題

━ 六春闘 支払い能力論浸透 ━

原告団の闘いと今後の展開

━ 国鉄闘争の現状 ━

読者からのおたより

金児 順一

編集部

No. 969 (二〇〇六年六月一日号)

◇卷頭言 ◇ 四国の地で市議選をたたかう  
多くのことを学んだ選挙闘争

民主・小沢 自民・小泉は労働者の敵

—現在情勢と政治の課題—

国家、権力、軍 —憲法、教基法改悪への基本視点—

「医療制度改革関連法案」衆議院で強行採決

解決交渉テーブル求め原告団・闘争団が行動

—六月一二日から六月一六日にかけて—

新しい芽が出てきた

労働犬ゾ近畿支局事務局長福本道春

「地域ユニオン」全国交流集会

—十一月に茨城・土浦大会

読者からのおたより

編集部だより

中野 勇人

滝野 忠

原 義弘

花井 吉宅

赤峰 正俊

小西 純一郎

No. 970 (二〇〇六年六月二一日号)

◇卷頭言 ◇ 辺野古にピヨンテクアメリカ軍がのさばる背景

十年を一日に凝縮した情勢の到来

—働く者の反撃を組織しよう—

今こそ市民の風を！ 07年参院選・平和の共同を求めて

○六春闘と自治体労働者の闘い —東京・調布市職労からの報告—

ホリエモン 村上フアンドと取引所

なぜ、地位確認を求めるべきか —国鉄闘争に寄す—

減る専従役職員 —組合員数減少が財政直撃—

虎の尾を踏んで（二）

—野付記研の障がい者差別告発闘争の報告—

読者からのおたより

No. 971 (二〇〇六年七月一日号)

◇卷頭言 ◇ 現象と同時に本質も

戦争法体系の重要な一環

—国民保護関連条例に反対する討論から—

組拡、政策、春闘総括が主要課題

—連合中央委から—

連合と悪法 —国民投票法、教育基本法改悪、共謀罪—

三闘争団・争議団に心から激励

—国鉄闘争京都集会超満員で成功—

労働組合運動の「限界性」

—現代政治と公務員制度改革（上）—

読者からのおたより

編集部だより

稻村 守

編集部

伊勢 太郎  
山下 けいき

太田 耕造

No. 972 (一〇〇六年七月一日号)

◇卷頭言 ◇ 組合大会の焦点

武士道と教育

——武士道は封建支配者の道徳——

教育評価で教師集団バラバラに ——これが学校現場です—

◇東京都教育委員会教育長への抗議文 ◇

増田都子さんの「分限免職」处分撤回を

「日の丸・君が代」闘争の現段階と課題

——東京都の事例から——

市議生活と教育のはざま

日経連『日本の経営』の公務員版

——現代政治と公務員制度「改革」(中) —

読者からのおたより

編集部

滝野 忠

稻葉 耕一

西村 昭一

稻葉 耕一  
西村 昭一

西本 章

No. 973 (一〇〇六年七月二一日号)

◇卷頭言 ◇ 取引所再考 —汚濁と腐敗、墮落の巣—

労働基本権と引き換えに「首切り」容認 —現代政治と公務員制度「改革」(三)—

◇○六組合大会等から (一) ◇ 労働組合「危機」の背景をさぐる

日本経団連、連合、中央委、郵政二労組

友達を増やそう、楽しいことしよう —「ユニオン ジュニア」結成 —

嘆くよりまず集まろう —青年労働者が「国鉄闘争」で学習会—

湖国に吹く反開発行政、反高負担の風

—野党分裂下、三期目の自公民現職を下した滋賀県知事選—

読者からのおたより

滝野 忠

稻葉 耕一

西本 章

稻葉 耕一  
西村 昭一

稻村 守

No. 974 (一〇〇六年八月一・一日合併号)

◇卷頭言 ◇ 「現代ファシズム」考

大企業は大儲け —〇六年三月期決算から—

◇○六組合大会から (二) ◇ 安全、「民主化闘争」、そして一〇四七人問題

JR三組合、そして私鉄総連

国労の新たな訴訟について —解雇撤回、JR復帰の旗を高く掲げよ—  
いまどうなっているの?

—鉄建公団訴訟と鉄道運輸機構訴訟(二次訴訟)の現状—

「究極の労働法制改悪を許すな」—京都総評が学習集会開く—

介護保険改正は棄民政策そのもの

—要介護認定更新の調査が恐ろしい—

沖縄から透察できる戦争責任の奈落  
—沖縄に「三つの顔」—

三池炭鉱『三池 終わらない炭鉱(やま)の物語』

読者からのおたより

編集部だより

佐賀 章男

花井 吉宅

滝野 嘉津子

No. 975 (二〇〇六年八月二一日号)

◇卷頭言 ◇ 労働組合と政策

「菊の御紋」が政治に登場  
| 「富田メモ」について友人への便り |

滝野 忠

編集部

◇○六組合大会から (三) ◇ 平和問題と生産性向上  
前半大会の諸特徴

労働組合に利己主義は無縁

| 兵庫・武庫川ユニオンの方針 |

読者からのおたより

No. 976 (二〇〇六年九月一日)

◇卷頭言 ◇ 「A級戦犯合祀」と私の感想

憲法と「靖国」—改憲論議に寄せて (上)

日本の医療は崩壊した! —これが、『小泉の改革』—

「農民運動」の新たなる展開

| 山形県高畠町における「有機農業運動」について |

◇○六組合大会から (四) ◇ 新国際組織そして一〇四七人問題

全労連、国労大会他

国労全国大会は何を決定したのか

〔資料〕解決にあたつての具体的要求 (国労闘争団全国連絡会議)

読者からのおたより

No. 977 (二〇〇六年九月一日)

| 現代マスメディア考 |

労働運動強化、そして北朝鮮ミサイル

鉄建公団訴訟判決1周年9・15中央集会

憲法と靖国 —改憲論議に寄せて (下) —

◇○六組合大会から (五) ◇ 地域ユニオン元気、発展中

さらに続く社会保障の大改悪

| 新たに「高齢者医療確保法」—

読者からのおたより

滝野 忠

- 8 -

矢田部 理

金平 博

嵐山 勝巳

矢田部 理

原 義弘

◇卷頭言 武庫川マブチが支配介入の不当労働行為 ◇  
ユニオン辞めたら賃金補償したる!

滋賀県労働委員会に救済申し立て (八・二)

カストロとキューバ —現代の情勢について (上) —

◇○六組合大会から (六) ◇ 小泉構造改革路線に反対

自治体労組そして全労協

武庫川ユニオン

滝野 忠

武庫川ユニオン

◇資料 ジョン・スウェイニー会長は「反ブッシュ」の連携を呼びかけた ◇

どの国も、強い製造業の基盤を持つことが大切だ

安倍政権の登場と参議院選

—安倍君は総理大臣たりうるか—  
読者からのおたより

No. 979 (二〇〇六年一〇月一日号)

◇卷頭言 ◇ 热氣こもつた集会で報告

| 「とめようやめよう共謀罪9・16集会」 |

キュー・バは輝きつづける | 「カストロ後」のキュー・バ (下) |

◇国労東海本部大会報告 ◇

「昇進試験を積極的に受け、職場の中心に座ろう」

山梨委員長挨拶で、異例の呼びかけ

九・一一テロから五年

| 追いつめられる米国・ブッシュ政権 |

労働運動再生への道 | 労働組合運動の現状と課題 (上) |

読者からのおたより

編集部だより—柳沢淳氏を悼む

増田 都子

滝野 忠

No. 980 (二〇〇六年月一日号)

◇卷頭言 ◇ 教育基本法改悪に絶対反対 | 教育基本法改悪に反対する関西集会

東京地裁「日の丸・君が代」九・一二判決 | 後の声明 | 都教委「処分」に断罪

沖縄知事選に糸数氏「出馬宣言」

改憲阻止闘争の飛躍的強化へ

「はばたけ！ 9条の心」 | 11・3 一万人憲法集会の成功を

「春闘」を「春討」にさせないために | 二〇〇六年春闘総括 |

自民党と小泉の五年間

裁判傍聴、「国鉄まつり」にご参加を

学び 話し合い 方針を出す | 労働運動再生への道 (下) |

読者からのおたより

門永 秀次

滝野 忠

大嶋 甲三

西村 昭

小川 幸四郎

増田 都子

花井 吉宅

No. 981 (二〇〇六年一〇月二一日)

◇卷頭言 ◇ 「九・一一」めぐるおかしな議論

◇郵政労働者のみなさんへ ◇

全郵政との組織統合問題を検証しよう

◇資料と解説 ◇

経団連「新内閣への要望」—競争力強化、そして憲法・教基法改悪を建議

◇資料 「新内閣への要望」(日本経団連) ◇

イノベーションによる新しい日本型成長モデルの実現など

安全問題の原点

| 第四三回三池大災害抗議集会 (十一月十二日) |

都教委を提訴するに当たつての原告声明

◇投稿 ◇ 靖国問題の根底に横たわっていること

| 矢田部論文を読んでー

本誌発刊三十周年、通巻一千号 | 原稿募集のお願いー

暴走政治に抗する労働運動づくり

| マツシロからナガサキへ 地区労全国集会ー

新社会党「地域ユニオン」づくりに全力

| 地域ユニオン全国交流会 in 土浦ー

宇都宮地区労

羽生 光雄

読者からのおたより

No. 982 (二〇〇六年一月一日)

特集 祝・社会通信三〇年

◇卷頭言 ◇ 社会通信の三〇年（上）  
日本労働者運動史の不可欠な原資料  
三十年そして岩井さん

社会主义のルネッサンスを求めて

創刊号からの愛読者

明確な主張と継続の力

夫の首切り

而立ということ

ブログをはじめて一年

いつのまにか座右に・・

未来ある子どもたちと『社会通信』の三十年

『社会通信』で元気を取り戻したわが子

読者からのおたより

編集部だより

No. 983 (二〇〇六年一月一日)

◇卷頭言 ◇ 労働戦線再編成、国鉄分割民営化  
社会通信の三〇年（中）

チリがまるかつたら

「変わらない人生」生きる  
「日刊乗務」そして乗務反合研

「四党合意」のはざまで  
「まちづくり」に思うこと

私の訴え

一人からでもできることがある  
連れ合いに感謝

一千号への快挙と劳苦に寄せて  
読者からのおたより

編集部だより—原稿寄せて

No. 984 (二〇〇六年一月二日)

◇卷頭言 ◇ 向坂先生、岩井さん、灰原さん  
「社会通信」の三〇年（下）

鉄建公団裁判傍聴を一大法廷を満員にして下さいー  
鉄建公団訴訟控訴審の位置づけと争点

◇コミニティ・ユニオン 全国交流集会 in かづの ◇  
ユニオングループサンスリみんなが主役の集会

◇最近の労働情勢 ◇ 朝日新聞記事からみる偽装請負の実態  
読者からのおたより

編集部だより

黒崎 隆雄  
武庫川ユニオン

加藤 晋介

滝野 忠

吉田 勝夫  
園田 裕子  
大嶋 甲三  
井角 清  
佐野 周二  
東海林 和夫  
北畠 清仁  
堀井 進  
六津五郎

滝野 忠

原義弘  
上原 和夫  
稻村 守  
原野人  
菅原健  
真鍋裕方  
松永智子  
杉山義昭  
原野人  
須摩子  
滝野忠  
塚本健  
菅原健  
須摩子

No. 985 (二〇〇六年一二月一日)

滝野 忠

◇巻頭言 ◇ 松坂君と独占価格  
ブッシュの外交破たん —米国中間選挙の意味するもの

鉄道事故から「安全」を考える —労働組合の運動を問う (上) — 大山 三郎

◇資料と解説 ◇ 日教組が 教基法改悪で「非常事態宣言」

◇資料 中川昭一自民党政調会長に抗議する (日教組・〇六・十一・一三) ◇

デモは表現に自由の発現

◇資料 毎日新聞 (〇六・十・二三)

中川政調会長、「日教組の一部、免許はく奪だ」と批判

◇資料 日教組中央委員会特別決議 (〇六・十・十八) ◇

教育基本法改悪に反対し、学校現場の自主・自律にもとづく教育改革を求める

◇資料 教育基本法「政府法案」の強行採決への声明 (日教組 06・11・15) ◇

国民的論議を求める声明

労働組合に「新たな」変化? —連合、全労連 ○七春闘への基本方針—

読者からのおたより

No. 986 (二〇〇六年一二月一一日)

◇巻頭言 ◇ 安倍首相は小泉の寄生虫

国際労働組合総連合が結成

「合理化」が安全を脅かす

—鉄道事故から「安全」を考える (中) —

◇資料 ◇ 国際労働組合総連合 規約

貴分科会で現在審議中の労働法制問題に関する私の意見

—厚生労働省労働政策審議会労働条件分科会御中—

読者からのおたより

No. 987 (二〇〇六年一二月二一日)

◇巻頭言 ◇ 人の弱さを強さに変える労働組合の「存在」

—「ブレッド&ローズ」を見て—

「不当労働行為を座視できない」

—第一回公判始まる 酒井前支部長が意見陳述をおこなう—

季節労働者の現状

「個人責任論」で安全は守れない

—鉄道事故から「安全」を考える (下) —

労災病院を高次脳機能障害センターに

—第四三回三池大災害抗議集会—

「ぼくは重度障がい者、でも心は自由」と原告の鈴木さん

—「移動介護費」制限は違法の判決—

こんな足だけどいろんなところに行つてみたいのさ

—ホームページ「鈴木敬治さんのエッセイと詩」より—  
読者からのおたより

おかげさき

大山 三郎

滝野 忠  
編集部  
稻村 守  
大山 三郎